

2015年7月3日金曜日

# ものづくり通信

第125号

大阪府ものづくり振興協会

大阪中央区本町橋2番5号

電話・06-4792-7849



## 6月12日(金)第12回通常総会



第2回理事会の後、第12回通常総会が去る6月12日(金)午後5時30分より会員58名(委任状含め97名)出席のもとに大阪弥生会館にて開催され、議案が全て議決承認されました。



理事会



総会

総会終了後、午後5時30分より懇親会を開催し(総勢76名)、吉田会長の開会挨拶、

本日は大変蒸し暑い気候の中、また、大変お忙しい中多くの方々にご出席いただきまして有難うございます。先程は、当協会第12回通常総会が開催され、皆様のご協力のもと無事終わることができましたことを報告し、改めてお礼申し上げます。

私、実は1期2年務めまして、本来はこの期で退任することとしておりましたが、諸事情のため、もう1年務めることとなりました。何分微力ですが、もう1年皆様にお役に立つよう頑張る所存です。私一人が頑張っても進まないことが多々あります。組合員皆様のご協力と関係官庁の皆様の力を借りながら一歩ずつ進めていきたいと考えております。

残り1年間でどこまで出来るか分かりませんが、ただ、活動を進めるにあたっては、皆様をお願いごともあります。特に参加率が悪いのが気にかかります。各組合様のメリットともなるような事業の活動を図っていきたくと考えておりますが、私は常々、組合のメリットとは「自分で探していくもの、与えられるものではない」と考えております。先ず今回のような研修やセミナー等に参加し、探せる場があること、これがメリットの一つと考えています。ところで、3部会の皆様方の景況はどうでしょうか。私の属する生活化学部会は、悪い状態が続いています。質上げによるコストアップを仕入れてカバーしようとして共倒れになりつつあります。一方で、大企業が伸びていく中、我々中小には恩恵が受けられないのか。国の施策や大阪府の施策に期待したいものがあります。

もの協の活性化のためにも、私ももう1年頑張りたいと思っております。

さらにご協力をよろしくお願いいたします。



その後、

近畿経済産業局 産業部 製造産業課長 森下様より、



平素は、経済産業行政あるいは近畿経済産業局の取組みに対し、暖かいご支援、ご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

わが国経済は良いところと悪いところがあり、まだ模様の中徐々に回復基調にあるというのが現状ではないかと思えます。今年度は、地方での景気回復を重点的に取組もうということで、地方での新プログラムを用意しているところであります。ものづくり補助金については 第2次募集がありますので、是非ご活用いただければと思っております。技術開発や革新的なサービスの向上には是非ご活用下さい。

わが国経済を支えるのが「ものづくり」と云うことでもありますので、当協会には大きな役割を担っていただいております。吉田会長始め多くの皆様のご努力、ご熱意に敬意を表する次第です。私も、多くの業界様よりお招きをいただきましてお話しをお伺いしますが、儲かってきているとこ

ると、なかなか進まないところがあり、二極化が目立ってきているように思います。これは、各々の業界の中でもあるように思います。進んでいるところでの話しでは新しい技術開発や商品開発、または生産プロセスの改善についての様々な工夫や取組み努力あるいは販路の多様化、拡大に対する努力が実を結び始めているように思います。こう云った新しい商品作りや技術開発、プロセスの改善は個々の企業での取組みが大切ですが、各企業間での横の連携を取りながらの取組みが成功しているところも出始めてきています。

今年度は、このような各業界様の横連携について何かお手伝いできることがないかと考えています。

大阪府ものづくり振興協会との連携、川下業界と川上業界との取組、異業種異分野との組合せによるビジネスマッチングへの取組等横連携の促進や取組を進めていきたいと考えています。

また他に、生産性の向上に着目した「ものづくり白書」を作成中です。是非ご注目いただきたいと思います。

と挨拶を頂いた。最後に、今年の夏も（7月1日～9月30日）節電に対するご協力をお願い致します。

次に 大阪府商工労働部長 津組様より、祝辞を頂きました。

皆様には、日頃から、大阪府政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。大阪府ものづくり振興協会におかれましては、ものづくり企業の業界団体の連合組織として、府内産業の振興と発展に大きく貢献されるとともに、OSAKA-MONO.net（おおさかものネット）の運営など、新しい事業にも積極的に取り組まれております。

吉田会長をはじめ、役員の皆様、会員団体並びに団体加盟企業の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

さて、昨今の経済情勢を見ますと、基調としては緩やかな回復が続いており、大手製造業の業績改善や、新卒採用の増加など、明るい兆しが出てきております。一方、長引く円安や、電気料金再値上げなど、大阪の中小企業をとりまく経営環境は、なお厳しい一面もあり、景気回復の実感が隅々まで行き渡るよう、支援の継続が必要だと認識しております。

大阪府では、本年2月に金融機関等と連携し、新たな融資メニューとして「円安対策資金」を創設し、4月からは、さらに、電気料金値上げに対する資金需要にも対応するべく、「円安・電気料金値上げ対策資金」として利用対象を拡大いたしました。こうした、その時々経営課題に迅速に対応していくためには、日頃から府内企業の経営状況の把握が必要であるため、定期的に景気観測調査を行うとともに、ものづくりの総合支援拠点「MOB I O（モビオ）」や和泉の府立産業技術総合研究所など、最前線の現場を中心に、日々の相談対応や経営・技術面等でのサポートを行っております。

引き続き国や市町村、他の支援機関などとの連携も深めながら、様々な分野でチャレンジする企業の皆様を応援する取組みに、全力を注いでまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大阪府ものづくり振興協会の今後益々のご発展と、会員企業の皆様のご繁栄を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



大阪府立産技総研  
古寺理事長 乾杯挨拶



懇談風景



木村副会長 中締め

続いて、大阪府立産業技術総合研究所古寺理事長様の乾杯で祝宴がスタートし、歓談の後、木村副会長の中締め挨拶でお開きとなりました。

協会だより



### 家庭常備薬、健康管理用品の特別斡旋事業

ご協力ありがとうございました。次回は10月に行う予定です。  
よろしくお願いいたします。

## 今後のスケジュール

7月29日(水) 第2回運営委員会 15:00～ 大阪市中央区民協カ-

9月29日(火) 予定 工場見学(京都方面) 未定

**NEW**

10月3日(土) もの協杯 ゴルフコンペ (箕面ゴルフクラブ) : 後日案内いたします。

11月16日(月) セミナー : 大阪府中央会共催 : 後日案内いたします。

### 事務局だより

- 会費を納入していただけていない会員の方は、ご確認いただき、入金のほどよろしくお願ひいたします。
- 今年度は、新たにゴルフコンペやセミナーを増やし会員同士の交流の場や、部会活動を積極的に行いたいと思ひますので、是非ご参加下さい。

平成27年度 役員が新たに選任されました。よろしくお願ひいたします。



会長	吉田 忠次	大阪府印刷工業組合(生・化)	
副会長	池崎 博之	日本カーペット工業組合(繊維)	
	木村 俊雄	(一社)大阪溶接協会(機械金属)	
	西澤 吉樹	印刷インキワニス工業会(生・化)	
理事	生活・化学部会 (5)		
	田邊 香	(一社)大阪硝子工業会	
	福岡 精一	大阪ハンドバッグ協同組合	
	塩谷嘉太郎	大阪府紙器段ボール箱工業組合	
	嶋田 誠	堺市化学工業団地協同組合	
	谷口 啓司	全日本ブラシ工業協同組合	
	繊維部会 (5)		
	中野 雅司	大阪メンズアパレル工業組合	
	植野 和雄	泉州織物工業協同組合	
	森口 和信	日本毛布工業組合	
	武田 清孝	協同組合 オリセン	
	水本 恵造	大阪ニットファッション工業協同組合	
	専事	機械金属部会 (6)	
		夏山 享啓	(一社)大阪金属プレス工業会
		森脇 隆	大阪府鍍金工業組合
斉藤 栄司		(一社)金型協会	
葛村 和正		西部金属熱処理工業協同組合	
後藤 晴雄		(一社)日本ねじ工業協会関西支部	
桑田 泰彦		大阪府シートメタル工業会	
監事	重松 章	協同組合 西日本帽子協会(繊維)	
	出向井康司	大阪建築金物工業協同組合(生・化)	
相談役	森澤 嘉昭	近畿印刷産業機材協同組合(機械金属)	
	瀧山 謙	近畿石鹼洗剤工業協同組合(生・化)	
	田中 義治	近畿鍛工品事業協同組合(機械金属)	



## 組合紹介 第15弾

【組合案内レポ Vol.27】



### 関西ダイカスト工業協同組合

所在地: 〒564-0053 吹田市江の木町2-26

設立: 昭和29年2月20日

組合員数: 21社



高橋専務理事 佐伯理事長 薦副理事長

#### ●組合のあゆみ

昭和25年に日本ダイカスト工業協同組合設立の後、関西では昭和26年、帝国・京都・東洋の各ダイカスト会社の呼びかけで、大阪、京都、兵庫地区のダイカスト業者、約50社が集合した。その後、協同組合設立に向け申請書類作りがスタートし昭和28年11月に大阪法務局に申請・正式発足した。昭和30年代は、なべそこ不況を経験するもののわが国ダイカスト生産は飛躍的な発展を遂げた。昭和30年(1955年)の6,132tから昭和39年(1964年)の8万8,130tに14倍の驚異的な伸びを示した。自動車部品・2・4輪・産業機械・電気通信機器などの部品用途拡大の進んだ時代でもあった。以降も順調に生産をのばしており、平成26年は百万トンを超えている。

活発な活動が評価され昭和54年には優良組合として通商産業大臣表彰を受賞され、歴代理事長を始め理事の方々5名が国家褒章・勲章を受章されている。(最近では平成24年度秋旭日双光章前理事長桑名紀文氏)

現在の会員企業は、近畿・中国等広範囲にまたがっている。

#### ●ダイカストとは

ダイカスト (Die Casting) とは、鋳物の一種で、アルミニウム合金、亜鉛合金、マグネシウム合金、銅合金などの溶融金属に圧力を加え金型に注入して形作るもので、高精度・強度に優れ・鋳肌の美しい鋳物を生産する鋳造方式です。その工程はほぼ自動化されており、生産性の高い大量生産に適した鋳造方式です。

#### ●活動

組合運営の実行組織としては、技術委員会、青年部会が中心となって工場見学会や研修会を実施している。また、関東・中部の若手経営者の会と交流した工場見学会も開催している。

技能検定委員会のセミナー開催により毎年多く技能検定合格者を輩出している。合格率は81% (2級) で全国平均の60%を大きく上回っている。

今後の課題は「各社の経営改善」と考えている。目先の問題として、原材料およびエネルギーコストの上昇分の価格転嫁が出来ていないことであり、経営を圧迫している。価格転嫁問題は今後の大きな課題である。



ダイカストの製品色々

編集委員が貴組合様を順番に訪問させていただく予定にしておりますので、ご協力の程、よろしくお願いたします。  
なお、取材日の希望があれば、事務局までお知らせください。

【組合案内レポ Vol.28】

### 関西スポーツ用品工業協同組合

所在地: 〒540-0025 大阪市中央区徳井町2-2-11

設立: 昭和49年12月(法人化して)

組合員数: 79社



坂本専務理事 杉立前専務理事 前澤理事  
中西副理事長 田上理事長 淡野副理事長

#### ●歴史

組合は、昭和35年に結成された「関西スポーツメーカー正和会」を源流とし、昭和40年に発足した「関西スポーツ用品工業会」を前身としています。そして、昭和49年12月に「アシックス」の創業者である故鬼塚喜八郎氏の呼びかけで、相互扶助の精神に基づき、親睦を図り情報交換を行う場として、関西スポーツ用品工業協同組合が誕生し、昨年12月に40周年記念式典を開催しました。組合の最大の特徴としては、日本を代表する大手スポーツメーカーが加入し、中小企業と親密な交流をしていることです。

#### ●活動

旭化成やサントリー、島津製作所、マツダ等の工場や施設を見学するだけでなく各企業のトップと食事を一緒にする異業種研修会や、勉強会を開催している。また、卸、小売りも含めてスポーツ関連団体が多い中で存在感を出すため、裾野を広めるとともに一つのことを深く掘り下げるよう、近年は素材メーカーにも賛助会員として加入していただき、年2回テキスタイル分科会を開催している。それ以外にも、高速・有料道路の大口・多頻度割引制度であるETCコーポレートカード事業や薬・ガソリンの共同購入など実利益活動も積極的に行っている。組織としては、NP(ニュープロジェクト)委員会を立ち上げ、そこで新しい試みを企画し、理事会を円滑に進めるようにしている。

#### ●課題

少子高齢化に加えて、運動する子供が減ってきており、プロスポーツは盛んになってはいるが、一般の人たちがスポーツに参加する機会は世界的に見ても減っている。また、最近では選手のレベルがとて高くなり、5~6歳頃から始めないと、プロやオリンピックに出るようなトップレベルには達しないことから、テレビで見えるような選手は選ばれた少数の人と思われ市場が収縮する可能性がある。よって、参加型のスポーツを増やし、広めることが課題である。そのきっかけとして、サマータイム制の導入を提唱していくことや環境にもよく怪我も少なくなる学校の芝生化等に業界が一緒になって取り組むべきであると考えている。

